

A stylized, dark-toned map of East Asia, showing the Korean Peninsula, Japan, and the surrounding seas. The map is rendered in shades of brown, green, and blue, with a textured, almost topographical appearance. It serves as the background for the text.

中国の文化Ⅲ

日中文化交流史

第十一回 霧社事件



NHK「映像の世紀 JAPAN」より

インドの独立運動家が見た日本

NHK「映像の世紀」が紹介しているように、インドの独立運動家でのち初代首相となるネルーは、十五歳のとき、日露戦争での日本の勝利に大きな感銘を受ける。一九三二年、独立運動で収監されたネルーは、同じく十五歳になった娘インディラに手紙（十二月二九日付）を送り、当時の感銘を語っている。



インドの独立運動家が見た日本

「アジアの一国である日本の勝利は、アジアのすべての国ぐにに大きな影響を与えた。わたしは少年時代、どんなにそれに感激したかを、おまえによく話したことがあったものだ。たくさんの方のアジアの少年、少女、そして大人が、同じ感激を経験した」

ネルー「日本の勝利」(一九三二年十二月二十九日)
『父が子に語る世界歴史』(大山聡訳、
みすず書房、第三卷二二一頁)より



インドの独立運動家が見た日本

「ヨーロッパの一大強国は敗れた。
だとすればアジアは、そのむかし、
しばしばそういうことがあったよう
に、いまでもヨーロッパを打ち破る
ことができるはずだ。ナシヨナリズ
ムはいつそう急速に東方諸国にひろ
がり、『アジア人のアジア』の叫び
が起こった。」

ネルー「日本の勝利」（一九三二年十二月二十九日）
『父が子に語る世界歴史』（大山聡訳、
みすず書房、第三卷二二一頁）より



インドの独立運動家が見た日本

しかし、ネルーが受けた感銘は、やがて失望へと変わっていった。娘インディラへの翌十二月三十日付の手紙では、軍事力によって欧米列強に伍すようになった日本が、アジアの人々の期待を裏切り、少数の侵略的帝国主義諸国のグループに入ってしまったことへの失望感を語っている。

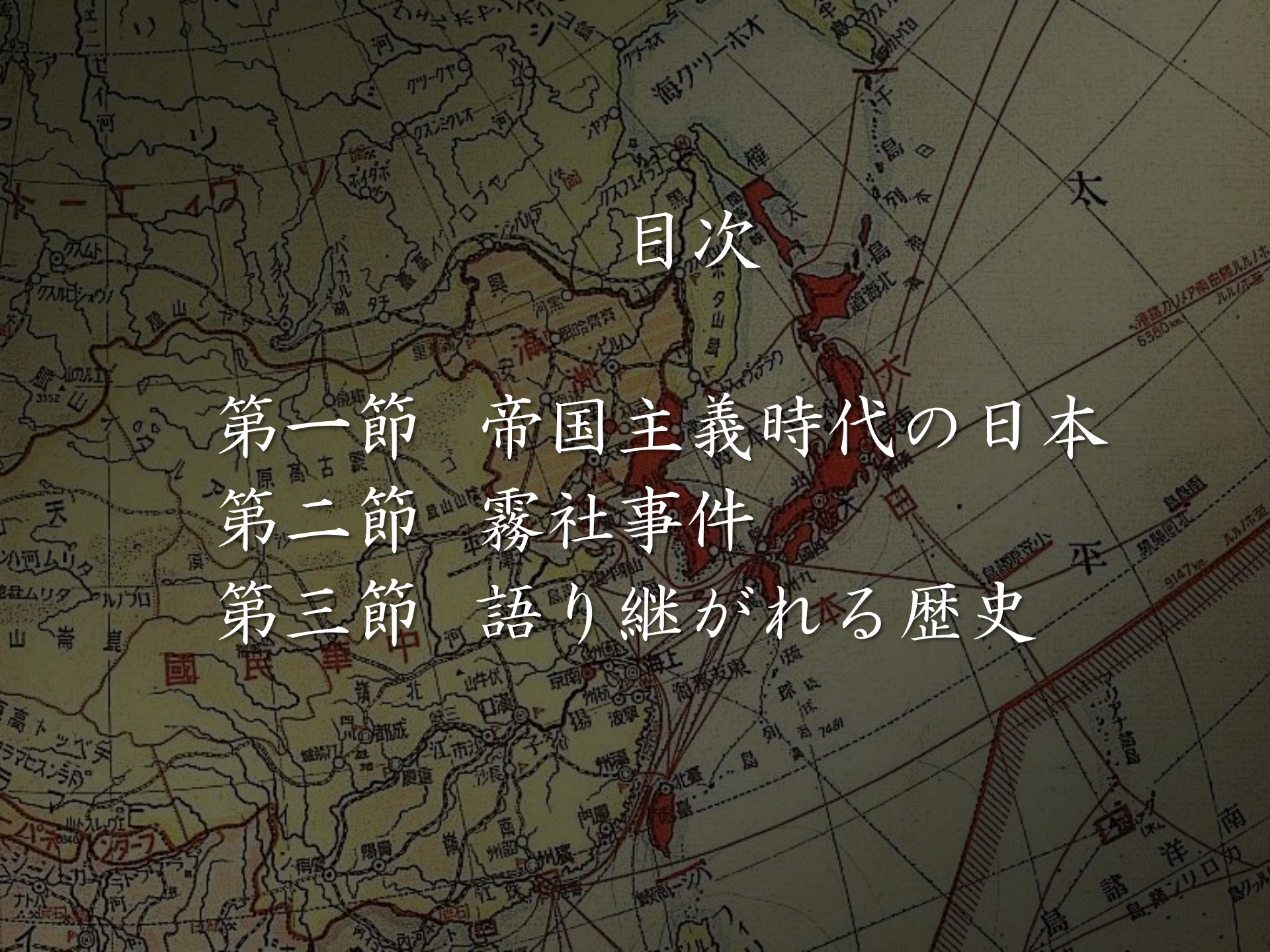


インドの独立運動家が見た日本

「日本のロシアに対する勝利がどれほどアジアの諸国民をよるこばせ、こおどりさせたかということわれわれは見た。ところが、その直後の成果は、少数の侵略的帝国主義諸国のグループにもう一国を付け加えたというにすぎなかった。」

ネルー「中華民国」（一九三二年十二月三十日）
『父が子に語る世界歴史』（大山聡訳、
みすず書房、第三卷二二三頁）より





目次

- 第一節 帝国主義時代の日本
- 第二節 霧社事件
- 第三節 語り継がれる歴史

第一節 帝國主義時代の日本



Q

写真は一九一九年（大正八年）に発行された尋常小学校の地理の教科書である。このなかで日本はどのような国と書かれているか？

①天皇を中心とする万世一系の単一民族国家

②多くの民族がともに暮らす多民族国家

尋常小學校地理書 卷一
文部省

多民族国家日本

（わが国は）国民の大多数は大和民族にして、其の数五千四百余万に及ぶ。その他、朝鮮には約一千六百万の朝鮮人あり、台湾には十余万の土人と支那より移り住める三百余万の支那民族とあり。又北海道にはアイヌ、樺太にはアイヌ其の他の土人あり。民族は相異なれども、ひとしく忠良なる帝国の臣民たり。」

文部省『尋常小學地理書・卷一』

（一九一九年発行）

尋常小學地理書 卷一

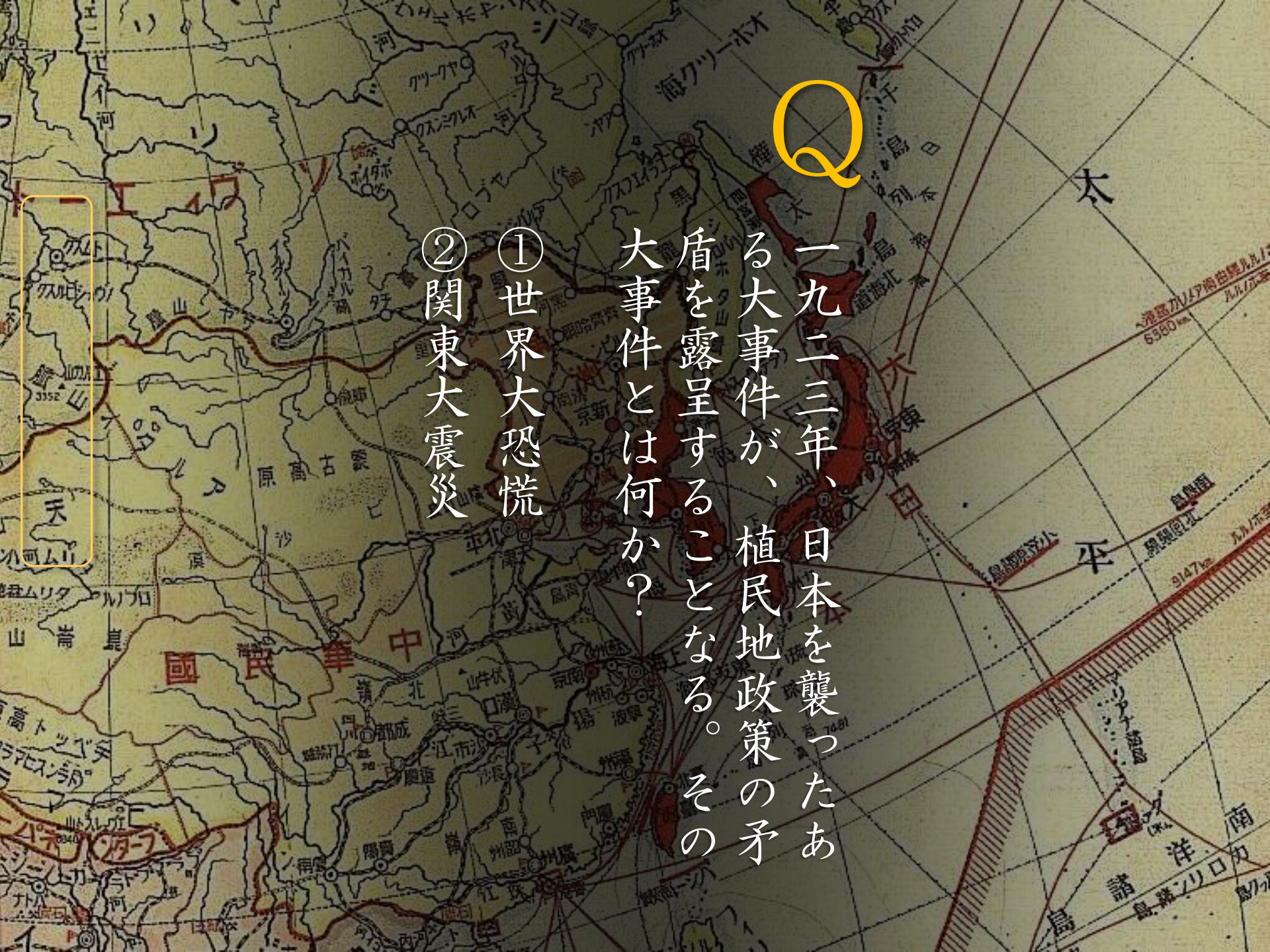
文部省



1895年、日清戦争後の
下関条約で日本に割譲



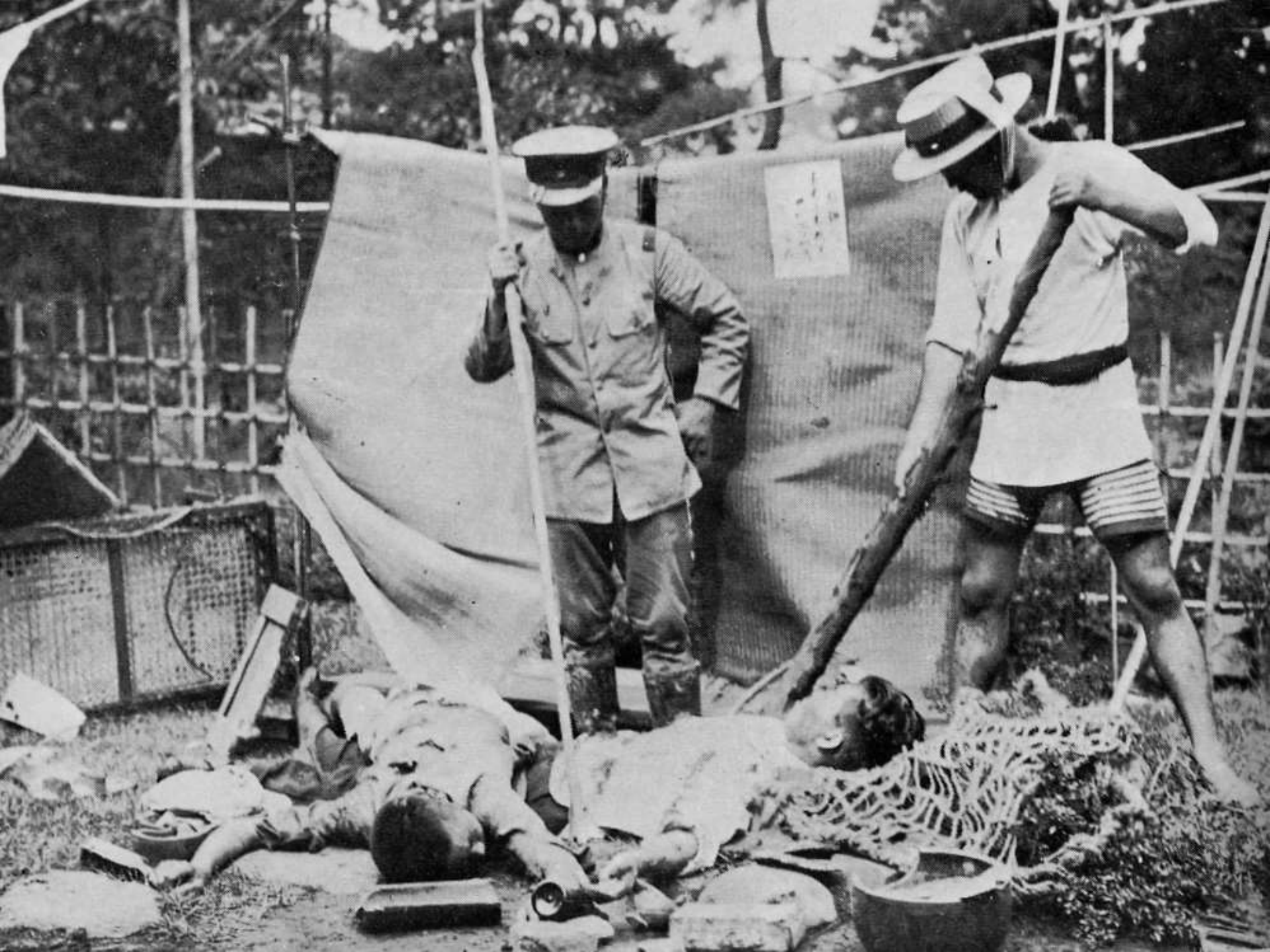
1910年「韓国併合に関する条約」により日本に併合



Q

一九二三年、日本を襲ったある大事件が、植民地政策の矛盾を露呈することとなる。その大事件とは何か？

①世界大恐慌
②関東大震災



関東大震災の中での惨劇

一九二三年（大正十二年）、関東大震災の混乱の中、当時、日本の植民地であった朝鮮出身の人々が、自警団などによって虐殺された。

犠牲者の数は、当局の発表では二六
三一名であったが、実際の数は二六
一三名（吉野作造調査）とも六六六一
名（独立新聞調査）とも言われている。

自警団に殺された朝鮮の人々（『増補保存版かくされていた歴史』より）



YouTV制作「関東大震災」より

震災に乘じ猛火の中で
殺人掠奪等戰慄す

行動を取つた不逞鮮人の群

埼玉縣兒玉郡本庄町に於て男女學生、勞働者百二十名を同地自警團が虐殺したる事件、群馬縣藤岡警察署部内に於て避難中の土工十六名を藤岡町自警團が虐殺したる事件、又埼玉縣熊谷町にて勞働者五十八名を又千葉町船橋町に於て同地方自警團が鮮人工夫十數名を虐殺した事件及び横濱に於る土工勞働者多數の虐殺事件等は既に十月十一、十二、十三、十四日の號外並に本紙に詳報したが、二十日その筋の發表によつて被害者の殆んど全部は朝鮮人であることが判明した、尙東京巢鴨の自警團員が獵銃にて射殺したる日本大學卒業生某は朝鮮前總理大臣の息閔麟植氏であつたことも判明した

(東京電話)

然るにこれは反動に鮮人が震火の混亂に乗じ殺人強姦を敢てした事件が發表された。東京新聞の一面に於ける朝鮮人の暴行は、この

げ惑うてゐた本所區押上町一六五牧野彌八商店及柳島元町一六九吳服店富宮事中

戸署及び出動せる軍隊と對峙して猛闘して多數の死傷者を出したが一味の不逞團を指揮して、

教名は現場にて逮捕され、無戸署より審判廳に移送され取調中であつたが、強姦殺人疑罪を以て東京府府所に收容された、一方主犯及び

報

又埼玉県熊谷町にて労働者五十
八名を又千葉町船橋町に於て同地方
自警団が鮮人工夫十数名を虐殺した
事件及び横浜に於る土工労働者多数
の虐殺事件等は既に：：詳報したが、
二十日その筋の発表によつて被害者
の殆ど全部は朝鮮人であることが判
明した。

不逞自警團

の檢舉

一

泥棒を捕へて見れば我子なり――

大震災當時、不逞鮮人の暴動や掠奪の風説が馬鹿々々しき程まで大

袈裟に傳へられ、所謂自警團の組

織となり、多数鮮人の殺傷と言ふ

大慘劇が行はれたのであるが、今

日に至つて調査して見るこゝ、震災

のドサクサに乗じて、強盜掠奪等

の罪を犯したものは不逞の日本

人であつて朝鮮人でなかつた事が

明らかになつた。何と言ふ皮肉で

あらうか。東京、神奈川、地方には多数

の鮮人が居住してゐる。其中には

不逞無賴の徒も居る。相違ない。

大震災當時、不逞鮮人の暴動や掠奪

の風説が馬鹿々々しき程まで大袈裟

に伝へられ、所謂自警團の組織とな

り、多数鮮人の殺傷と言ふ大慘劇が

行はれたのであるが――

『大阪朝日新聞』(一九二三年一〇月二七日)

の暴動によりて日本の國體が今に

も動搖するかの如く慌てふため

き、遂に血氣にはやりたる自警團

の各所に於ける鮮人大殺傷となつ

たのは、如何に辯護しても、日本國

民に沈着冷靜の訓練を缺き、非常

時に際して常識を失はざるの用意

が足りなかつた證據と言はなけれ

ばならない。

四

加之、自警團の暴行が、怪しむべき

鮮人、又は抵抗したる鮮人に對し

てのみ加へられたものであれば尙

恕すべきであるが、血を見て狂せ

る彼等は、苟くも朝鮮人ささへ見

れば片端しから何の容赦もなく殺

傷したのである。至りて

は、警察官が保護を加へつゝある

鮮人が、自警團の暴行に對して、

不逞無賴の徒も居る。相違ない。

大震災當時、不逞鮮人の暴動や掠奪

の風説が馬鹿々々しき程まで大袈裟

に伝へられ、所謂自警團の組織とな

り、多数鮮人の殺傷と言ふ大慘劇が

行はれたのであるが――

『大阪朝日新聞』(一九二三年一〇月二七日)

の暴動によりて日本の國體が今に

も動搖するかの如く慌てふため

き、遂に血氣にはやりたる自警團

不逞自警團

の檢舉

一

泥棒を捕へて見れば我子なり
大震災當時、不逞鮮人の暴動や掠奪の風説が馬鹿々々しき程まで大要装に傳へられ、所謂自警團の組織となり、多數鮮人の殺傷と言ふ大慘劇が行はれたのであるが、今日に至つて調査して見るこ、震災のドサクサに乗じて、強盜掠奪等の罪を犯したものは不逞の日本人であつて朝鮮人でなかつた事が明らかになつた。何と言ふ皮肉である。

民族対立を煽つたマスコミの報道

の暴動によりて日本の國體が今にも動搖するかの如く慌てふためき、遂に血氣にはやりたる自警團の各所に於ける鮮人大殺傷となつたのは、如何に辯護しても、日本國民に沈着冷靜の訓練を缺き、非常時に際して常識を失はざるの用意が足りなかつた證據と言はなければならぬ。

四

加之、自警團の暴行が、怪しむべき鮮人、又は抵抗したる鮮人に對してのみ加へられたものであれば尙恕すべきであるが、血を見て狂せる彼等は、苟くも朝鮮人さへ見れば片端しから何の容赦もなく殺傷したのである。至りては、警察官が保護を加へつゝある

今日に至つて調査して見ると、震災のドサクサに乗じて、強盜掠奪などの罪を犯したものは不逞の日本人であつて朝鮮人でなかつた事が明らかになつた。何と言ふ皮肉である。

民族対立を煽ったマスコミの報道

試みに朝鮮及び日本に於て発行せられてゐる日刊新聞の、朝鮮に関する記事をごらん下さい。そこにはどんなことが報道せられていますか。私は寡聞にして、未だ朝鮮国土の秀丽、芸術の善美、民情の優雅を紹介報道した記事を見たことは殆どないと云つていいのであります。

『婦人公論』（一九二三年一一・一二月合併号）

中西伊之助（1887～1958）

民族対立を煽ったマスコミの報道

爆弾、短銃、襲撃、殺傷——あ

らゆる戦慄すべき文字を羅列して、
所謂不逞鮮人*——の不法行動を報
道しています。それも新聞記者の事
あれかしの誇張的な筆法をもって。

『婦人公論』（一九二三年一一・一二月合併号）

*不逞鮮人……植民地支配からの解放を求めて武
力闘争を行っていた朝鮮の独立運動家に対する
蔑称。

中西伊之助（1887～1958）

アジアの人々を暴徒から守った警官

関東大震災の混乱の中、朝鮮の人々が殺人掠奪を行っているとのデマが流された。このデマに惑わされた自警団や青年団などが暴徒化する中、朝鮮や中国の避難民約三百名を守った警官がいた。当時、神奈川警察署鶴見分署長であつた大川常吉である。



大川常吉 (1877～1940)

アジアの人々を暴徒から守った警官

「罪なき者を苛むは蛮行である。

わが大和民族の特性は敵人と雖も之を憫れむ所に存する。況んや朝鮮人は日本の国民である：：鮮人に手を下すなら下してみよ。此の大川から先に片付けた上にしろ。われわれ署員の腕の続く限りは、一人だって君達の手に渡さないぞ」

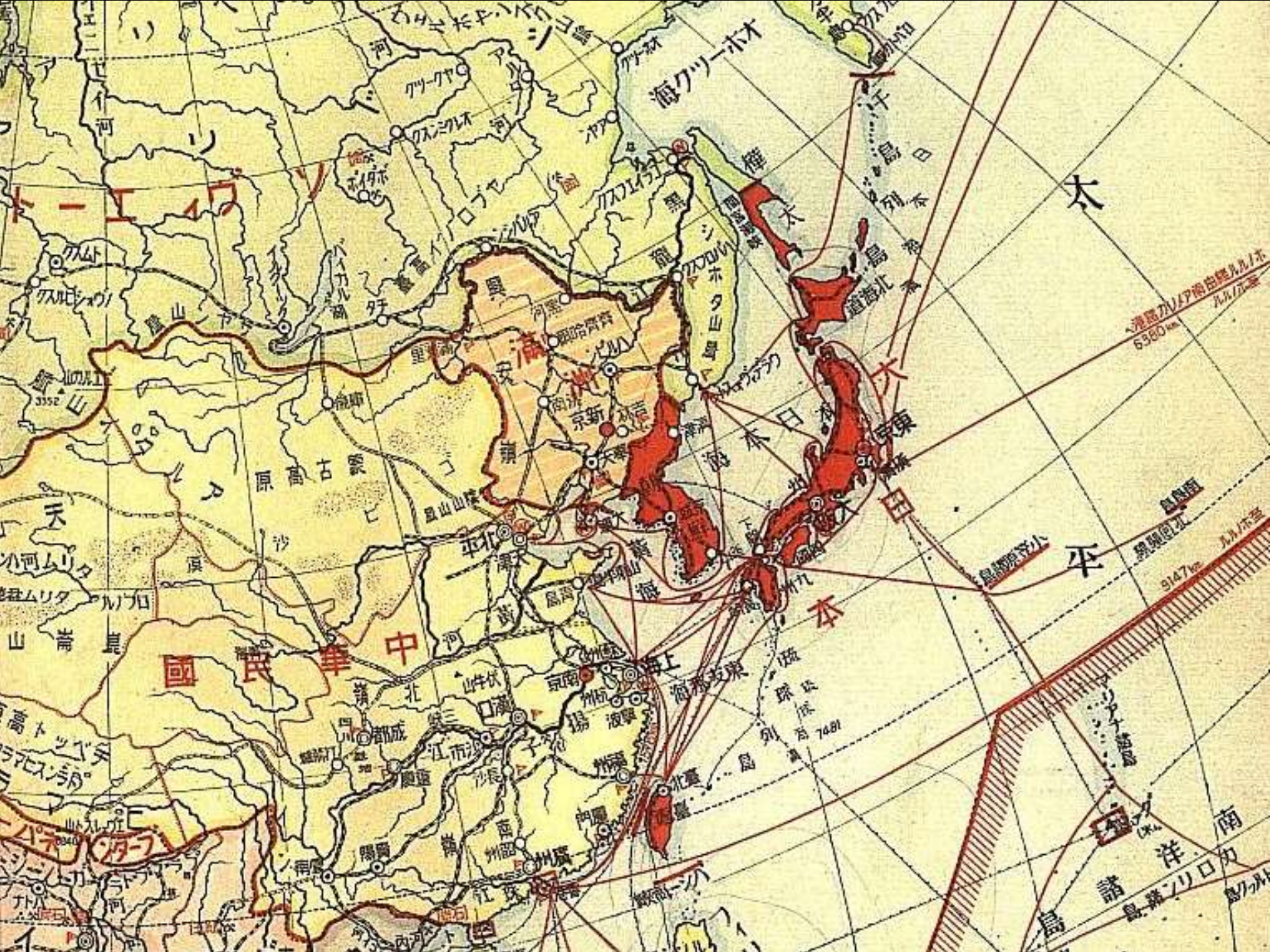
中島司『震災美談』（一九二四年）

大川常吉（1877～1940）



第二節 霧社事件





台湾の先住民族

日本は一八九五年(明治二十八年)から一九四五年(昭和二十年)まで五十年に渡って台湾を植民地支配した。台湾には中国本土から移民した漢族系住民のほか「高砂族」と呼ばれる先住民族*が暮らしていた。

*現在、台湾の先住民族は右図のように十六種族に分類されている。



NHK「映像の世紀 JAPAN」より

現代の教科書の中の霧社事件

（台湾では第一次世界大戦後）住民のあいだから台湾議会の設立や地方自治の確立を要求する民族運動が展開され、さらに一九三〇（昭和五）年には先住民が警察の横暴に反発して蜂起する霧社事件もおこった。

＊『現代の日本史A』（山川出版、コラム「日本の植民地統治：台湾と朝鮮」より。なお、二〇一三年度の歴史教科書全二十六点中、霧社事件の記述があるのは、中学校用教科書二点と高校用教科書二点の四点のみとなっている。



日本の警察の圧政に蜂起した先住民
一九三〇年十月二十七日、台湾中部の山岳地帯に暮らす先住民が、日本の警察の圧政*に耐えかねて蜂起した。先住民たちは、各地の派出所を襲撃した後、運動会が開かれていた公学校を襲い、日本人一三四人を殺害した。

これに対し、台湾総督府は軍隊、警察を派遣して徹底した弾圧を行ない、さらに部族間の対立を利用して、投降した先住民を襲撃させた。

*日本統治時代、台湾の先住民居住区(蕃地)では、警察が治安のほか、行政、開発、教育、司法などを併せた強大な権力を持っていた。

蜂起した先住民側の証言

霧社事件については、蜂起に参加したセーダツカ族ホーゴ社出身のアウイヘツパハ（日本名・田中愛二、中国名・高愛徳、一九一六〜？）氏が、先住民側からの貴重な証言を残している。

〔写真〕アウイヘツパハ『証言 霧社事件―台湾山地人の抗日蜂起』（草風館、一九八五年）



如果文明是要我們卑躬屈膝

那我就讓你們看見野蠻的驕傲

賽德克·巴萊

導演 魏德聖

Seediq Bale

9.09

太陽旗

9.30

彩虹橋

中影股份有限公司、米子電影有限公司、米子電影有限公司、中環國際娛樂事業股份有限公司、威視股份有限公司
監：林耀台、鄧志剛、安藤政信、河原さぶ、松本武、羅美玲、溫、大、地、黃秋郎、田、龜、李世基、林毅雄、張志偉、徐清帆、蘇、達、木村拓一、森田誠一
監：楊如璽、田中千繪、鄭元雄、劉國華、監：李光華、小坂史子、監：林田陽平、監：赤塚哲仁、監：林育華、監：陳長安、監：杜美玲、監：黃國昌、監：陳慧文、監：謝國清
監：Ricky Ho、監：Guy Grey、監：杜福之、監：張吉強、監：陳志元、監：周國忠、監：水島石影、監：鄭利枝、監：中影電影技術中心、監：鄭明正、監：陳永財
監：吳宇森、監：張家振、監：黃志明、監：魏德聖

WWW.SEEDIQBALETHEMOVIE.COM

中影國際娛樂事業股份有限公司

米子電影有限公司

三民書局

威視電影

台湾映画「セデック・バレ」(2011年)より

蜂起した先住民側の証言

「日本人が来て支配する前には、我々は自由に、そして愉快に、思いのままに狩りを楽しみ、農耕にはげんできたのだが、駐在所が置かれて巡査が来てからは、ひどい目にあわされるようになった。」

アウイヘツパハ『証言霧社事件』

(草風館、一九八五年、二四頁)



蜂起した先住民側の証言

「我々にはたった一片の人間らしい誇りすら持つことが許されなかった。バカヤロー！とどなられたとたんには、我々はもう拳骨を食らっている。」

アウイヘツパハ『証言霧社事件』

（草風館、一九八五年、二四頁）



蜂起した先住民側の証言

「昭和五年（一九三〇年）頃は、山地も平静になっていて、もう抗日事件など起こらないとみんなは思っていたであろうが、山地の日本人巡査の奴隸政策は相変わらず続けられていた。貧しい我々を一番苦しめたのは、労働問題であつた。」

アウイヘツパハ『証言霧社事件』

（草風館、一九八五年、二八頁）



蜂起した先住民側の証言

「日本人の巡査は我々を野蛮人から文明人に導くといいながら、かえって「生蕃」とか「蕃人」とか「蕃コロ」とかいって蔑んで、貧しい我々の利益を無視し、度重なる幾多の労役で我々を苦しめた。」

アウイヘツパハ『証言霧社事件』

（草風館、一九八五年、二九頁）



蜂起した先住民側の証言

「あの険しい山道を重い丸太を担いで運べるものではない。一步足をすべらしたら、断崖絶壁へまっさかさまだ。我々は昔から坂道を下る時には、材木を引き摺って運ぶ。それを日本人の巡査は檜材に傷がついて、鉋がかけられないと言って、担送を命じたのだ。」

アウイヘツパハ『証言霧社事件』

（草風館、一九八五年、二九頁）





台湾映画「セデック・バレ」(2011年)より

蜂起した先住民側の証言

「我々にとって最も耐えがたいことは、日本人巡査が権力をたてに、我々部落の女を性のはけ口に利用したことだった。強姦と私生児の誕生という問題は、かつて我々の社会にはなかったことである。」

アウイヘツパハ『証言霧社事件』

（草風館、一九八五年、二五頁）



1880

90

清

1616-1912

1900

10

20

30

中華民國

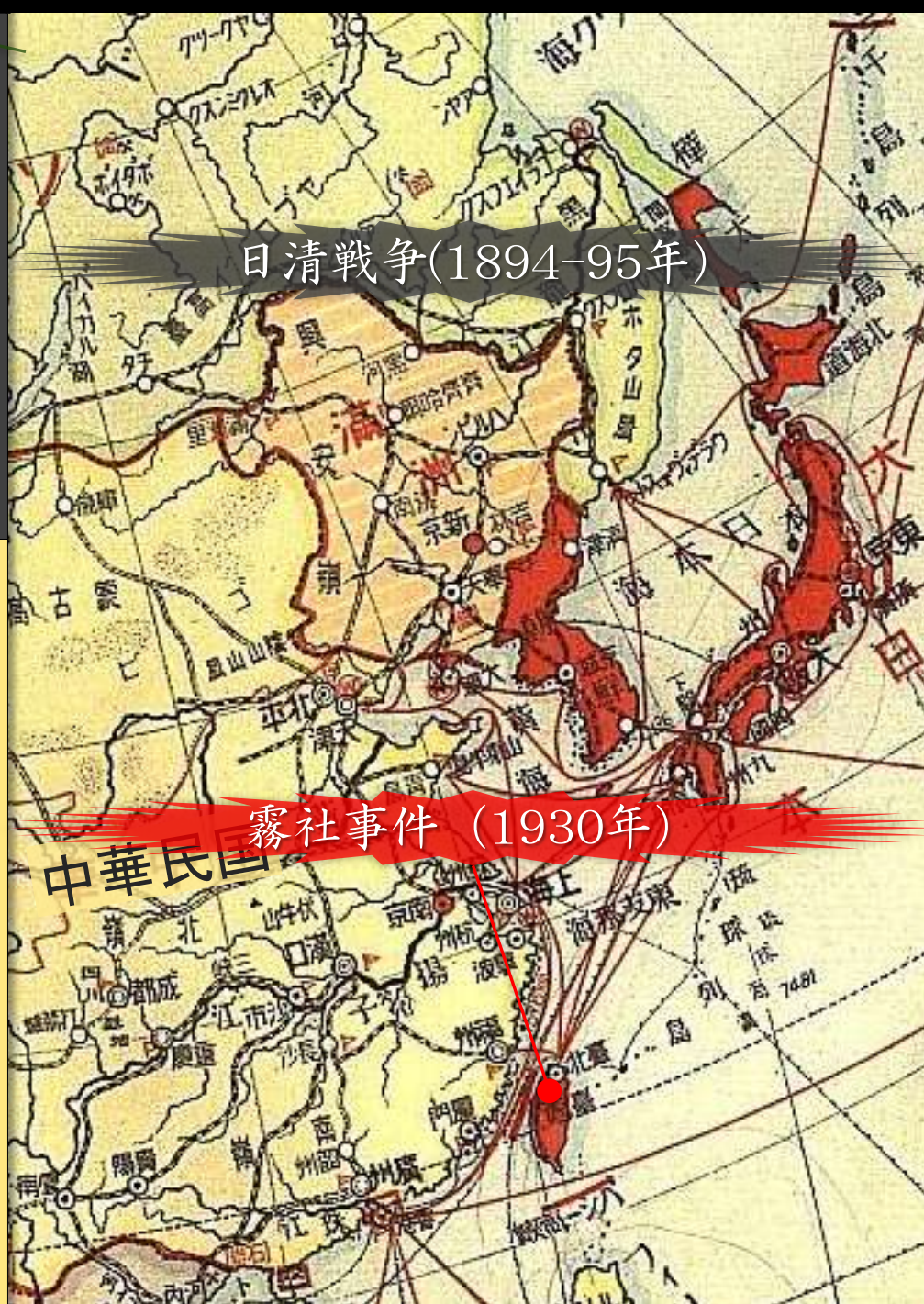
1912~

40

50

中華人民共和國

1949~



日清戦争(1894-95年)

霧社事件 (1930年)

中華民國

明治時代

1868~1912

大正時代

1912~1926

昭和時代

1926~1989

1880

90

1900

10

20

30

40

50

蜂起した先住民側の証言

「一〇月七日、マヘボ社で：結婚前祝の宴会が開かれた日のことである。娯楽の少ない我々の社会では、結婚式の酒宴は非常に楽しいもので、数日にわたって飲み、豚をつぶして食らい、日に夜を徹して踊り狂うのであった。」

アウイヘツパハ『証言霧社事件』

（草風館、一九八五年、二七頁）



蜂起した先住民側の証言

「ただ、その日は、酔ったタダオモーナと日本人巡査吉村克己との間に殴打事件が起きた。吉村はタダオモーナが血染めの手でさしだした黄色く濁ったドブ酒と手掴みの豚肉の饗応を、ステッキでたたき落とした。」

アウイヘツパハ『証言霧社事件』

（草風館、一九八五年、二七〜八頁）



蜂起した先住民側の証言

「タダオモーナの好意と尊厳は、恥辱に变じ、激情した彼は吉村の背を打ち返した。酒宴はたちまち恐怖に包まれた。日本人に手向かった後は、どんなひどい仕打ちがくだされるか……。日本人殺しの気運は、刻一刻と醸し出されていった。」

アウイヘツパハ『証言霧社事件』

（草風館、一九八五年、二八頁）





台湾映画「セデック・バレ」(2011年)より

蜂起した先住民側の証言

「一〇月二七日、霧社小学校、公学校及び蕃童教育所合同運動会の日以外には、霧社の日本人を殲滅するチャンスはもうやってこない……蜂起の結果が敗北と死の一途しかないことを知りつつ、民族の自由と尊厳のために、雄々しく立ち上がった」

アウイヘツパハ『証言霧社事件』

（草風館、一九八五年、三一頁）





台湾映画「セデック・バレ」(2011年)より

警察と軍による鎮圧

蜂起によって、運動会に集まった日本人一三四名が殺害された。

蜂起に参加した六つの社の総人口は一二三六人、このうち戦闘員は三百人ほどだった。これに対して日本は警察官一三〇六人と軍隊一三〇三人の計二六〇九人を動員し、さらに敵対関係にある部族を加えて鎮圧に当たった。

二ヶ月近い戦闘で蜂起した六つの社は、総人口の半数以上に当たる六四四人が命を落とした。一方、飛行機や大砲など近代兵器を使った日本側は、軍隊の戦死者二二名、警察官の殉職者六名だけであつた。*

*「霧社事件の顛末——六日総督府で発表」

（台湾日日新報一九三一年一月七日～十一日）

1880

90

清

1616-1912

1900

10

20

30

中華民國

1912~

40

50

中華人民共和國

1949~



1880

90

明治時代

1868~1912

1900

10

大正時代

1912~1926

20

30

昭和時代

1926~1989

40

50

第二次霧社事件

蜂起した六社の生き残りは二つの部落に収容された。人口は蜂起前の一二三六人から五六四人に減っていた。

その収容所を敵対する部族（タウツア）が襲い、一九五人を殺害した。これを第二次霧社事件と呼ぶ。*

二度の事件を経て生き残った二九八人は、翌一九三一年五月六日、別の土地へ強制移住させられた。

*当時、タウツア駐在所の巡査部長だった小島源治の証言によれば、この襲撃は警察上層部の指示を受けて行われたものという。（江川博道『昭和の大惨劇霧社の血桜』私家版、一九七〇）

1880

90

清

1616-1912

1900

10

20

30

中華民國

1912~

40

50

中華人民共和國

1949~



日清戦争(1894-95年)

明治時代

1868~1912

1880

90

1900

10

大正時代

1912~1926

20

30

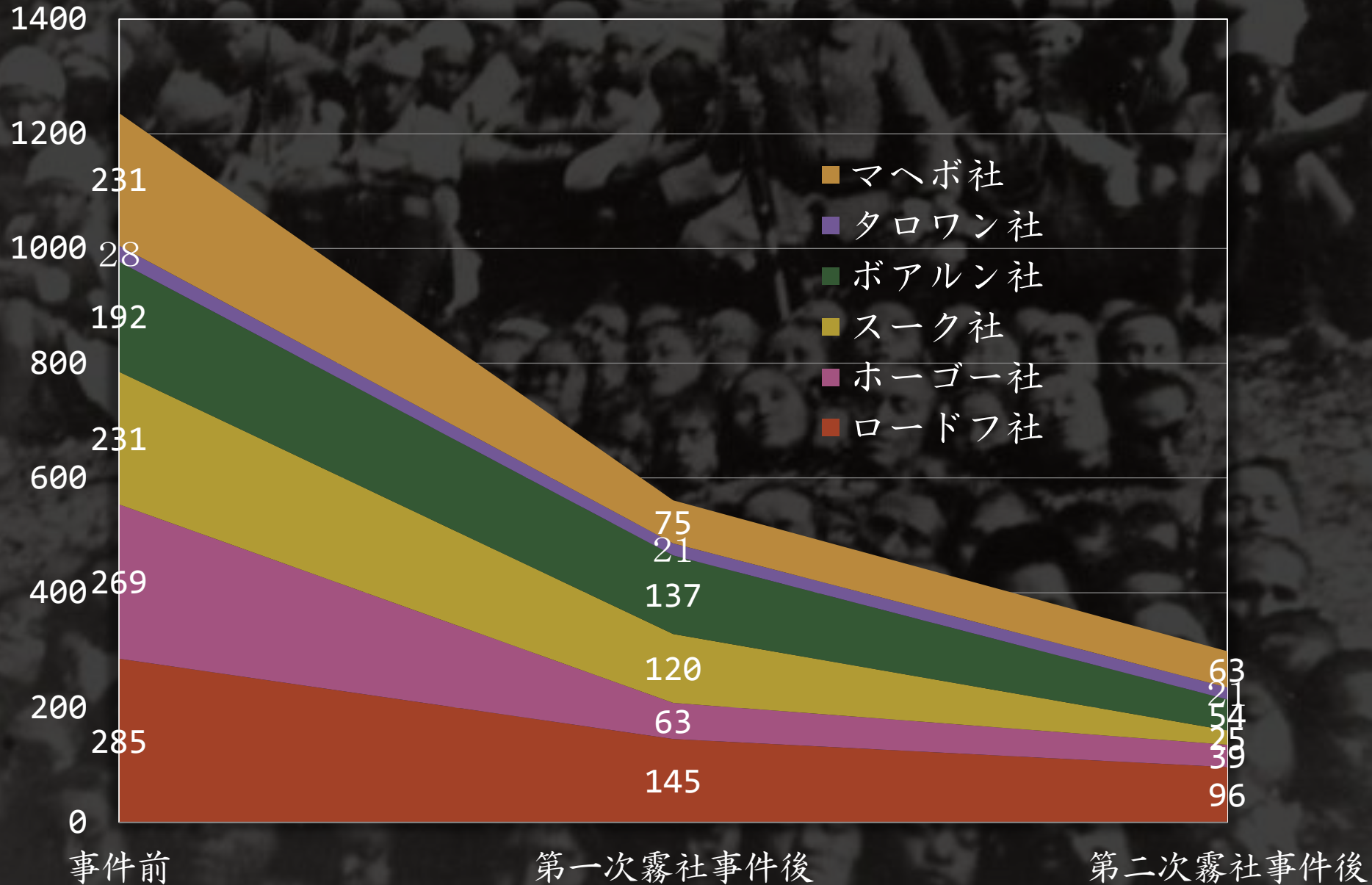
昭和時代

1926~1989

40

50

蜂起した六社の人口の推移



太平洋戦争と「高砂義勇隊」

事件から十一年後、太平洋戦争が始まると、日本は先住民の若者たちを日本軍の軍属「高砂義勇隊」として南方戦線へ送った。隊員の募集は一九四二年三月から計七回行われ、四二〇〇人が出征した。霧社事件の生存者からも二〇名が出征し、その内生還できた者は八名だけだった。



第三節 語り継がれる歴史



如果文明是要我們卑躬屈膝

那我就讓你們看見野蠻的驕傲

賽德克·巴萊

導演 魏德聖

Seediq Bale

9.09

太陽旗

9.30

彩虹橋

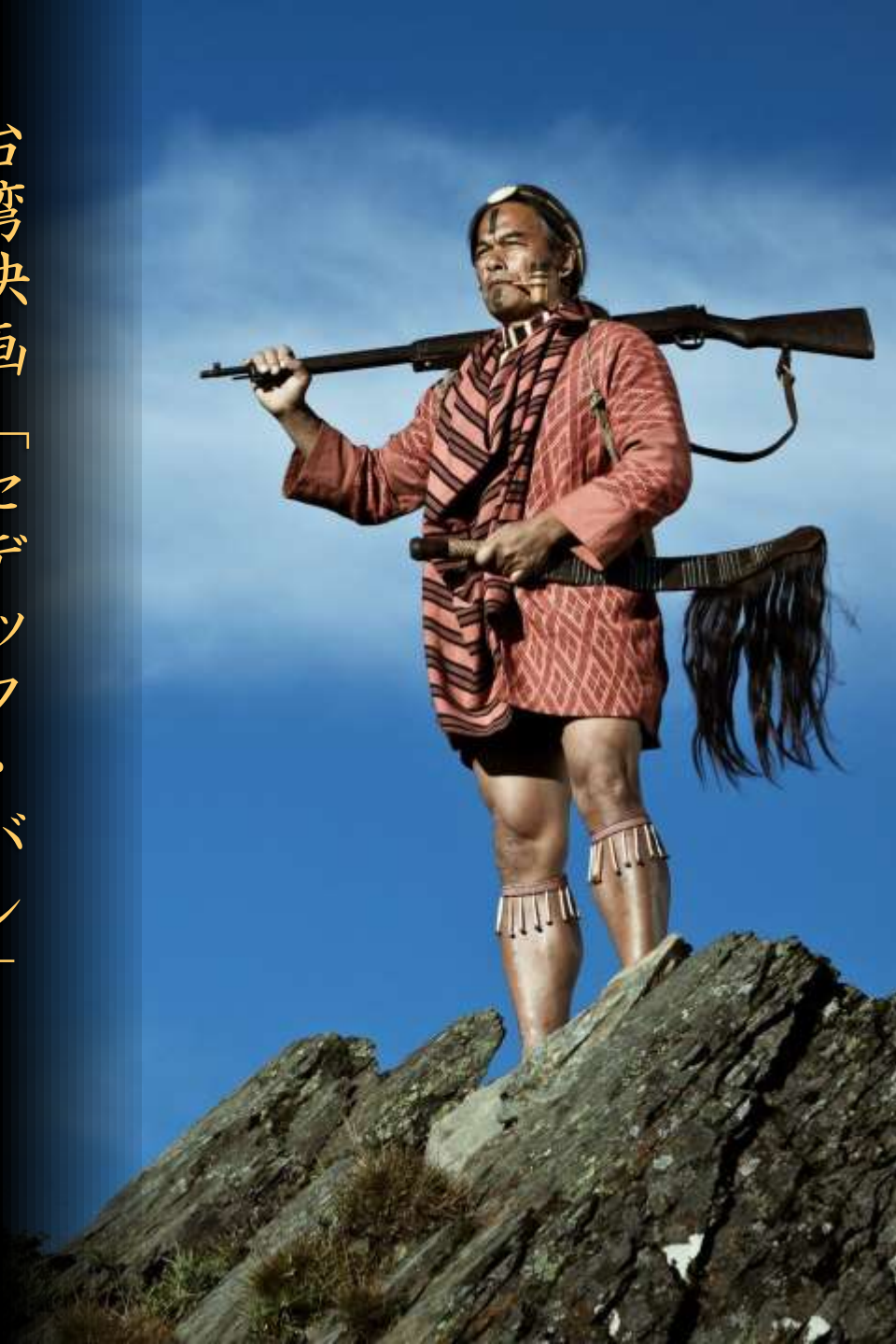
中影股份有限公司、米子電影有限公司、米子電影有限公司、中環國際娛樂事業股份有限公司、威視股份有限公司
監：林耀台、鄧志剛、安藤政信、河原さぶ、松石研、羅美玲、溫、嵐、大、地、黃秋生、田、地、李世鳳、林昭雄、張志偉、徐清帆、蘇、達、木村拓一、森田誠一
監：楊知剛、田中千繪、鄭元雄、劉國華、監：李光華、小坂史子、監：林田陽平、監：赤塚裕仁、監：林育華、監：林長安、監：杜美玲、監：黃國昌、監：陳慧文、監：謝國清
監：Ricky Ho、監：Guy Grey、監：杜福之、監：張吉強、監：陳志元、監：周國忠、監：水島石影、監：鄭利枝、監：中影電影技術中心、監：鄭明正、監：陳亮財
監：吳宇森、監：張家振、監：黃志明、監：魏德聖

WWW.SEEDIQBALETHEMOVIE.COM

台湾映画「セデック・バレ」

台湾の魏徳聖監督が二〇一一年に制作した映画。霧社事件の指導者であるモーナ・ルダオを主人公に、一八九七年にセデック族が起こした深堀大尉探検隊殺害事件から、一九三〇年の霧社事件までを描いている。

第一部「太陽旗」と第二部「虹の橋」の計四時間半におよぶ超大作。



霧社事件の首謀者モーナ・ルダオ

モーナ・ルダオ（一八八二年？～一九三〇年）は、セデック族マヘボ社の頭目。一九一一年（明治四四年）には第一回蕃人日本内地観光に参加し、近代化した日本の姿を見ている。霧社事件の後、行方不明になっていたが、三三年に遺体が発見された。



霧社の首謀者（中）モーナ・ルダオの事件
（左）イバラバナタ目頭社（右）者カ



風中 霧社事件 DANA SAKURA 緋櫻

"Dana Sakura" Still Photos for Desktop Screen Resolution of 1024x768 |

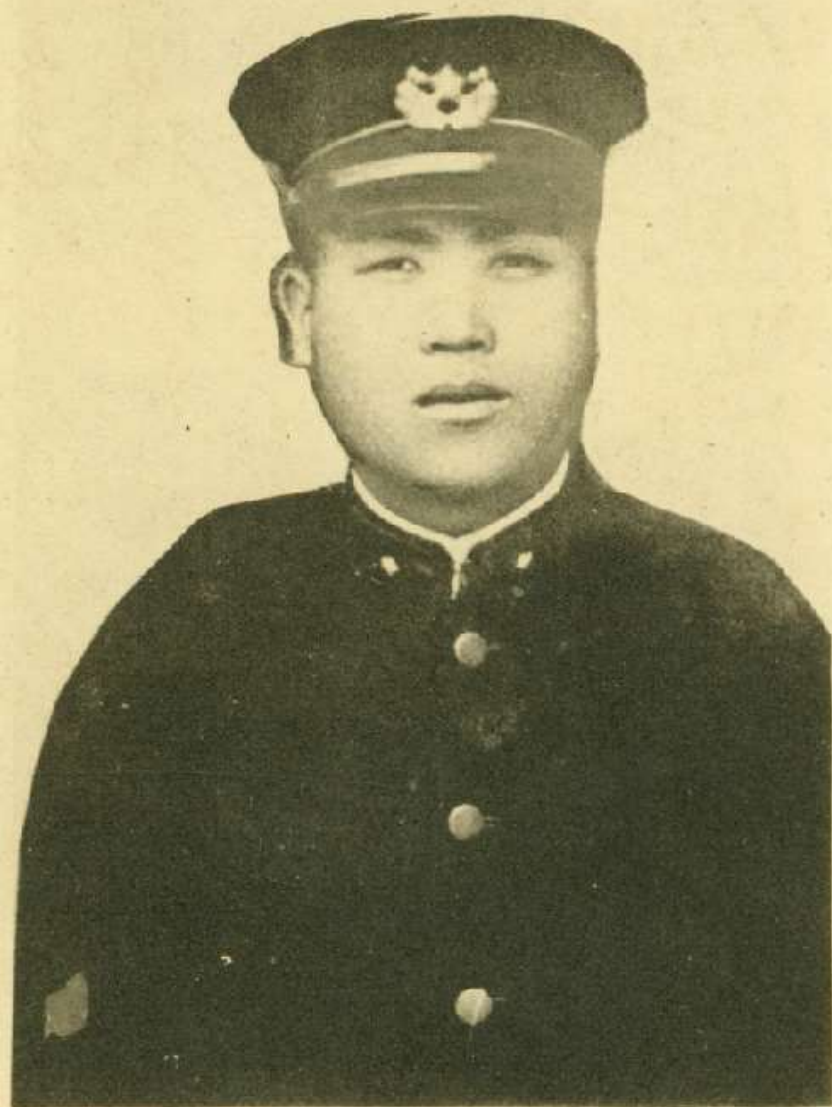
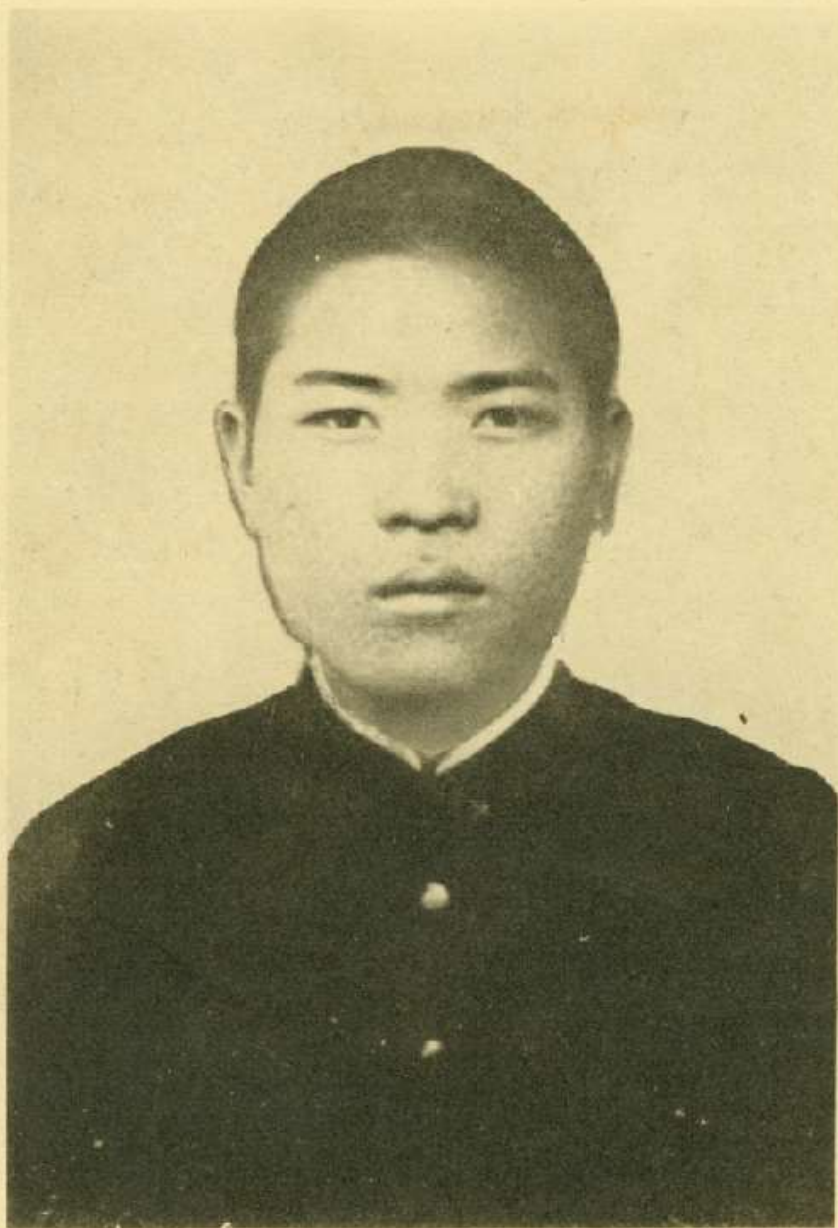
© 2004 Public Television Service Foundation. All Right Reserved | 財團法人公共電視文化事業基金會 版權所有

台湾テレビドラマ「風中緋櫻」

台湾の公共テレビが、二〇〇四年に制作したドラマ。霧社事件の生存者オビン・タグオ(日本名・初子)を中心に、「模範蕃童」として教育され、事件の中で日本と自民族の板ばさみになって自殺した花岡一郎、二郎、花子の短い生涯と、生き残った人々のその後を描いている。



台湾公共テレビ「風中緋櫻」より



(左) 花岡二郎 (右) 花岡一郎

君之面



が役出はんふうこの人蕃。ねらなぼねら去を世の此の等我(書遺しき置り張に壁の室分が人兩岡花)
川石(左てつ向)んせま來出もところすうどれは捕に達人蕃も等我たしまりなに件事なんこに爲い多
(央中)妻郎二岡花(す難遭に祖霧は査巡川石)人夫査巡

生き残った「模範蕃童」の証言

オビン・タグオ（日本名・初子）

は、花岡一郎や二郎と同じく先住民児童の中から選ばれてエリート教育を受けた「模範蕃童」であつた。事件を生き延びた彼女は、日本と自民族の板挟みになつた「模範蕃童」の立場から多くの証言を残している。



（右）てしに妻の人兩郎二岡花・郎一岡花
子初妻の郎二（左）子花妻の郎一

生き残った「模範蕃童」の証言

（一郎と二郎の）二人は日本人と同胞の板挟みになって、悩んでいた。日本の警察に苦しめられている同胞の怒りは、よく理解できる。しかし、教育を受けたわれわれが日本人に向かったら、今後、同胞は教育を受ける機会を失うにちがいない……
「わたしたちには死ぬよりほかに道はない」

中村ふじゑ『オビンの伝言』

（梨の木舎、二〇〇〇年、四〇頁）

「高砂義勇隊」として戦死した弟

事件から十一年後、太平洋戦争が始まると、日本は先住民の若者たちを日本軍の軍属「高砂義勇隊」として南方戦線へ送った。オビンの弟・ポホク・タダオ(日本名・川村大夫)もこれに志願し、戦死した。



戦死した弟ポホク・タダオ(右)

参考資料

- ①戴国輝『台湾霧社蜂起事件研究
と資料』（社会思想社 一九八一年）
- ②アウイヘツパハ『証言霧社事件』
台湾山地人の抗日蜂起』（草風
館、一九八五年）
- ③林えいだい『証言 台湾高砂義勇
隊』（草風館、一九九八年）
- ④中村ふじゑ『オビンの伝言』（梨
の木舎、二〇〇〇年）
- ⑤テレビドラマ「風中緋櫻」（台湾
公共電視台、二〇〇四年、日本未
公開）
- ⑥映画「セデック・バレ」（原題賽
徳克・巴萊 Seediq Bale、二〇一
一年公開）